

水俣から地域を見つめ直す

地域づくり研修プログラム

水俣病センター・相思社／水俣病歴史考証館

■水俣研修プログラム

相思社では、水俣病の経験を伝達するだけでなく、「地元学」の理論にもとづく地域づくりのための実践的な研修プログラムを提供しています。

水俣地域づくり研修モデルコース

日程 3日間 人数：10人以内

【1日目】

水俣病および地元学について講義

◆水俣病歴史考証館見学および水俣病患者の講話

水俣病事件の歴史、公害に伴う差別・偏見、公害が地域社会に与えた打撃について学びます



◆「地元学」についての講義

地元学の考え方について学びます。



◆ワーク「私の村、あなたの村」

参加者の活動地域の特徴を、3つのキーワードで紹介してもらいます。目的は、水俣での学習と自分の地域をつなげて考えることと、自分の立ち位置や価値観を知ることです。



「地元学」理論は、水俣病の教訓に基づく、新しい地域づくりの方法として考え出されたものです。「地元学」では、地域においてそれまでマイナスと思われていた物事をプラスと捉え直し、「ないものねだり」（行政依存）をやめて、地域に「あるもの」から地域づくりを始めます。

【2日目】村丸ごと生活博物館でのフィールドワーク

◆「あるもの探し」を体験

「あるもの探し」で「地元学」のエッセンスを学びます。村人の案内で村を歩き、そこに「あるもの」をあるがままに認識し、村の特徴を再発見します。



◆昼食

村の人びとによる手作りの郷土料理をいただきます。食は村の暮らしとつながっています。



◆村人へのインタビュー

◆共有化

あるもの探しを通じて発見したことを各人が付箋紙に書き出し、他の参加者と共有します。共有した内容を、村人の前で発表します



【3日目】活動の振り返り

◆ディスカッション

これまでの研修で感じたことを話し合い、考えを深め合います



Minamata Disease Museum
水俣病歴史考証館

財団法人 水俣病センター相思社／水俣病歴史考証館
〒 867-0034 熊本県水俣市袋 34
TEL 0966-63-5800 FAX 0966-63-5808
ホームページ <http://www.soshisha.org>
E-mail info@soshisha.org